

今年の夏休みは 遊びに学びに！



今回の招待行事は、鳴門教育大学おもちゃ王国との共催事業で、一昨年から香教連会員の無料招待の企画が導入されました。学校を離れて、家族と一緒に楽しむことは一番のフレッシュであり、他郡市の先生方との交流もこの行事の醍醐味です。
来年も実施しますね。

2026年8月9日(日)、岡山県玉野市の「おもちゃ王国」に、香教連会員の家族含め60名を無料招待しました。アトラクションも乗り放題、プールもあって、子どもたちは大喜びでした。学校を離れて、夏休みのひとときを家族と過ごしました。

香教連が各種の行事と研修を企画

香川県教職員連盟機関誌
発行所：香川県教職員連盟
発行者：塩崎太郎

〒760-0004
香川県高松市西宝町
2丁目6番40号
香川県教育会館 602
TEL087-835-2721
FAX087-835-2723
毎月10日発行 定価1部50円
(年間1,000円 送料とも)
会員の購読数は会費の中に含む



香教連は、子ども中心の教育をめざし、健全なる批判力を持つ、幼小中における県内最大の教職員団体です。



教研大会(徳島)で全国の同志と交流
全日教連教研全国大会(徳島大会)には、香教連からも多くの会員が参加しました。その中で、第6分科会特別支援教育では、香教連から、水澤愛先生、嶋肖奈先生(丸亀)が「児童一人一人の教育的ニーズに応じた教育を保障するための取組」をテーマに、発表されました。

来年は香川県丸亀市で開催
閉会式では、喜多政博徳島県教職員団体連合会委員長より御礼の挨拶があり、塩崎太郎香教連委員長が、次期開催地代表としてメッセージを述べました。
最後に、渡辺陽平全日教連委員長と共に熱い握手を交わし、本大会の成功を祝すとともに力強いバトンタッチが行われました。



全国大会参加の会員の声
全国の様々な取り組みを知ることができ、全国の様々な教職員と交流することができた、とても有意義な研修会であった。香川からは特別支援部会での提案発表があったが、私たちには当たり前と感じていることが、他県の教職員からすると新しく、是非取り入れたいという声も聞かれた。逆も然りで、私も自らの実践に取り入れていきたいと思うことがいくつもあった。夜のレセプションでは、全国の先生方と語りながら、本場の阿波踊りを体験することもでき、頭だけでなく心も満たされた素晴らしい時間となった。来年度は香川県で開催される全国教研。全国から集う教職員のみなさんに素敵なおもてなしができるように、私も尽力していきたい。(木下)



幼児教育部教育懇談会(交渉)ルポ



高松市役所で打ち合わせ



合同防災庁舎へ移動



8月26日(水)17:15~18:00、高松市合同防災庁舎3階301号室にて、教育懇談会を実施しました。香教連幼児教育部は、高松市内の幼稚園教員の組織であり、高松市及び市教委に現場の声を届けるため、教育懇談会という形で、要望活動を行っています。

当日の出席者として、高松市こども保育教育課から、香川課長をはじめ、運営支援室長、主幹、指導主事、学校教育課からは綾田課長、また、総合教育センターからは茶園所長補佐、幼児教育係長ら8名が、香教連から、塩崎委員長をはじめ、阪根副委員長、真田幼児教育部長、志度幼児教育副部長、三並研修部長、木下幼児教育要望部長ら6名が参加しました。



子どもの笑顔を求めて！

香教連交渉団(撮影 阪根)

理事者側(高松市、市教委、総合教育センター)

要望内容

- (1) 施設における環境整備の充実 保育に必要なアプリの積極的な導入や PC やデジタルカメラとの接続等、iPadの有効活用について検討すること(特に、コードモンに入力できる内容や iPad の写真の共有方法、保育に活用できるアプリの導入について)
- (2) 幼児教育の充実 架け橋カリキュラムを基に子どもの学びをつなぎ、支えていくために小学校の管理職の幼小合同研修会への参加をはじめ、普段からの関わりに積極的に取り組む等、小学校との連携や円滑な接続が図れるよう、高松市教育委員会から引き続き働きかけること
- (3) 園内の仕事の効率化を図るために、事務の業務内容について統一できるものは明記し、教員が保育業務に専念できるようにすること
- (4) 研修の充実 これまで通り教育・保育力を高めたり、組織としての自分の立場を自覚したりする研修と共に、教育専門職であり、教育公務員としての自覚を促す研修をキャリアステージに合わせた研修に含み、定期的に行うこと